

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★今月の事故★



すべての災害は防ぐ
ことができる

1. 事故の概要（就業中）

会員2名で道路沿いの玄関付近を剪定していた。少し坂道であり10尺の脚立を梯子状態にし、大ハサミを使用し樹木を刈り込んでいたところ転落、頭部を強打し意識不明で搬送された。頭蓋骨折と診断され現在も入院中。安全帽・安全帯は未着用だった。隣で作業していた会員の話では、「どのように脚立から転落したかは分からないが気がいたら仰向けの状態で倒れていた。」

2. 事故の原因

安全帽、安全帯の未着用、坂になっていて脚立の設置が不安定であった。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センター】

剪定班全会員に対して、安全就業に関する注意喚起の文書を送付

安全・適正就業委員会開催時に報告・対策等の検討を予定(コロナの影響で未開催)

【連合本部】

剪定作業時は、脚立等を設置する環境の確認と脚立の使用法、及び安全帽・安全帯を必ず着用するよう指導した。また、重大事故の発生であり早急に安全・適正就業委員会等で再発防止策等の検討及び結果報告をお願いした。

4. 全シ協から

剪定作業での墜落・転落事故は、令和2年度で、1か月以上6ヶ月未満の入院については、全体の4.4%で、重篤事故は、5.0%と毎年、多発し突出しています。非常に残念です。

10尺（約3m）の高さで安全帽、安全帯未着用、坂になっていて脚立の設置が不安定であった事故です。

絶対に実施してほしい点

- ① 安全帽、安全帯を必ず着用
- ② 下見で現場を確認し、高さ、脚立、梯子を確実に固定される環境の確認
- ③ 作業前、安全帽、安全帯が必ず着用できているかの確認、脚立、梯子が確実に固定できているかの確認、具合が悪くないか体調の確認を会員同士が実施

以上、安全が確保できない場合は、請け負うことはしないでください。

また、厚生労働省は、安全帽については、剪定作業に限らず梯子、脚立を使用する際は、高さ1m未満の場所でも墜落時保護用ヘルメットを着用して頭部の負傷を防止することを呼びかけています。今回もヘルメットを着用していれば重篤化を防げた事故であると思います。剪定作業は必ずヘルメットを着用してください。

このような残念な事故が起きないように会員、役職員が一体となり、センターとして今一度会員が安全、安心して就業できる環境をご検討いただき、早急に会員への周知徹底を図っていただきたいと思います。

令和3年7月（令和3年度）事故速報

(1) 重篤事故

7月は、1件の重篤事故報告がありました。

7月までの累計で比較してみると、令和2年度の12件と比して令和3年度は6件と6件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の9件と比して4件と5件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の3件と比して2件と1件減少となっています。

7月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	4(1)	2(1)	1(0)	3(1)	0(0)	就業中	9	3	6	9	0	
就業途上	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	就業途上	3	2	1	2	1	
計	6(1)	3(1)	2(0)	3(1)	2(0)	計	12	5	7	11	1	

↳ 前年度比 50.0% ()は、当月報告分です。

7月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
6	男 69歳	就業中 (死亡)	プラタナスの伐採作業をしていたところ伐採したと同時に倒した木の枝数本の下敷きになってしまった。	○	—	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

7月は、就業中の事故13件、就業途上の事故5件と、合計18件であり、昨年度同月の26件と比して8件の減少となっています。また、男女別では、男性は4件の減少となっており、女性は4件の減少となっています。

7月までの累計で比較してみると、昨年度の75件と比して、本年度は68件と7件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は51件で5件の減少となっており、就業途上は17件で2件の減少となっています。男女別では、男性は7件の減少となっており、女性は18件で昨年度と同数となっています。

令和3年度7月分

	仕事の内容	事故数 (件)		男性 (件)		女性 (件)		平均年齢(歳)		
		7月	累計	7月	累計	7月	累計	7月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	6(10)	23(23)	6(10)	23(23)	0(0)	0(0)	74	75	
	除草作業	4(4)	10(9)	4(3)	9(8)	0(1)	1(1)	76	75	
	屋内・屋外清掃作業	1(4)	10(11)	0(3)	5(5)	1(1)	5(7)	79	75	
	その他	2(3)	8(13)	2(2)	6(11)	0(1)	2(1)	80	77	
	計	13(21)	51(56)	12(18)	43(47)	1(3)	8(9)	76	75	
就業途上	交通手段	徒歩	3(2)	8(7)	1(0)	2(3)	2(2)	6(4)	74	78
		自転車	1(2)	5(10)	0(0)	2(6)	1(2)	3(4)	84	80
		バイク	1(1)	4(2)	1(0)	3(1)	0(1)	1(1)	80	74
		自動車	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	—	—
		計	5(5)	17(19)	2(0)	7(10)	3(5)	10(9)	77	78
合計		18(26)	68(75)	14(18)	50(57)	4(8)	18(18)	76	76	

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

5月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・包装等の職業」5件、「家庭生活支援サービスの職業」3件、「商品販売の職業」2件「飲食物調理の職業」「施設・ビル等の管理の職業」「自動車運転の職業」がそれぞれ1件あり、合計13件でした。前年同月の6件と比較して8件の増加となっています。また、男女別では、男性は4件の増加となっており、女性は3件の増加となっています。

なお、5月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度5月分

仕事の型(中分類)	中分類コード	事故数(件)				男性(件)				女性(件)				平均年齢(歳)	
		5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計		
商品販売の職業	32	2	(0)	3	0	0	(0)	0	0	2	(0)	3	0	69	67
家庭生活支援サービスの職業	35	3	(0)	4	0	1	(0)	1	0	2	(0)	3	0	68	68
介護サービスの職業	36	0	(1)	0	(1)	0	0	0	(0)	0	(1)	0	(1)	—	—
飲食物調理の職業	39	1	0	1	0	0	0	0	(0)	1	0	1	0	77	77
施設・ビル等の管理の職業	41	1	(0)	1	0	1	0	1	0	0	(0)	0	(0)	77	77
その他のサービスの職業	42	0	0	0	(1)	0	0	0	(0)	0	0	0	(1)	—	—
農業の職業	46	0	0	1	0	0	0	1	0	0	(0)	0	(0)	—	64
製品製造・加工処理の職業	54	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(1)	—	—
機械組立の職業	57	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	(0)	—	78
自動車運転の職業	66	1	(1)	2	(1)	1	(1)	2	(1)	0	(0)	0	(0)	69	66
運搬の職業	75	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	—	—
清掃の業務	76	0	(2)	3	(4)	0	(1)	2	(2)	0	(1)	1	(2)	—	76
包装の職業	77	0	(0)	1	0	0	(0)	0	0	0	(0)	1	0	—	75
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	5	(1)	6	(2)	4	0	5	(1)	1	(1)	1	(1)	71	73
計	—	13	(6)	23	(11)	7	(3)	13	(5)	6	(3)	10	(6)	70	71

() は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

山形県における安全就業の取組み

1 山形県シルバー人材センター連合会の概要（令和2年度実績）

(1) 会員センター数	25 センター（全センターが国庫補助対象）
(2) 会員数	9,059 名（うち女性 3,131 名）
(3) 粗入会率	2.1%
(4) 派遣登録会員数	1,866 名（うち女性 701 名）
(5) 就業延人員	944,970 人/日（請負・委任 793,330 人、派遣 151,640 人） 派遣教育訓練 224 人/日
(6) 受注件数	53,734 件（請負・委任 52,744 件、派遣 990 件）
(7) 契約金額	4,170,409,129 円 （請負・委任 3,467,972,968 円、派遣 702,436,161 円）

2. 事故発生状況（シルバー保険対象事故）

○傷害・賠償損害事故発生件数

(件)

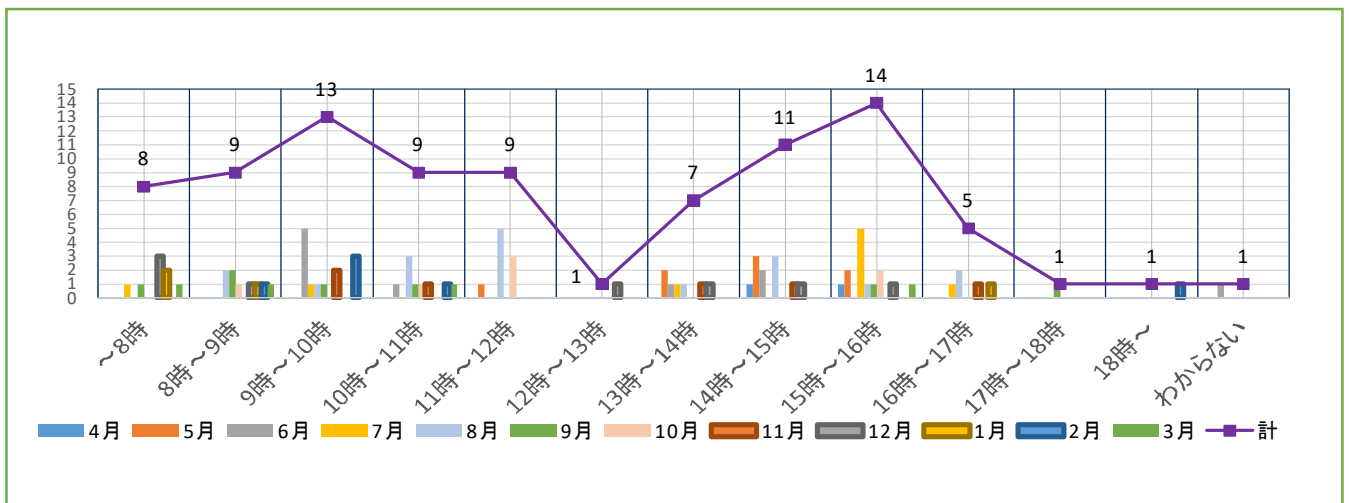
年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
傷害事故	就業中	46	38	42	50	46
	就業途上	4	6	3	3	8
	その他	2	1	1	1	1
	計	52	45	46	54	55
賠償損害事故		18	40	23	31	34

※その他：ボランティア、講習参加等の事故

傷害事故の発生は、ほぼ横ばいで推移してきているが、転倒などによる「骨折・ひび」などは増加してきている。令和2年度は、大雪だったこともあり、特に就業途上での女性の転倒事故が増加した。賠償損害事故は、草刈り作業時の石飛びによるガラス等の損壊がほとんどとなっている。

○傷害・賠償損害事故発生時間帯

（令和2年度事故の発生は9-10時、15時-16時に多い）



3. 安全就業対策推進事業の具体的内容

(1) 安全就業対策推進委員会の開催

連合会理事2名、各s c事務局長または安全担当職員7名、連合会事務局1名で構成し、年3回開催し、毎年度の安全就業対策の基本となる安全就業対策実施計画の策定をはじめ、事故の発生状況の分析や安全就業に必要な対策の検討、実施を行っている。

(2) 会員・センターに対する安全意識醸成のための啓発

7月を安全就業強化月間に設定し、パンフレットの配付のほか、会員や役職員から安全就業に関する標語の募集を行っている。令和2年度は、726編の標語の応募があり、最優秀1編、優秀2編、佳作10編を選考し、安全就業推進大会での表彰やステッカーの作成・配布などにより周知、啓発を行った。

(3) 安全就業推進大会

事故ゼロへ向けて、連合会、各センターが一丸となって取り組んでいく契機とするため、毎年、安全就業推進大会を開催している。これまでは安全就業優秀シルバー人材センター等の表彰や安全就業宣言、専門家等の講演などを実施してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス対策のため、参加人員の縮減(例年の半分程度の140名参加)や時間短縮など規模を縮小して開催した。



安全就業推進大会会場



表彰:安全就業優秀シルバー人材センター

安全就業宣言

山形県内すべてのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって取り組むことを、ここに宣言します。

- 一、新型コロナウイルスの感染症予防や健康管理に留意し、常に健康な状態での就業に努めます。
- 一、就業場所や道具及び器具類の事前点検を徹底し、石飛事故などの未然防止に取り組みます。
- 一、「自分の安全は自分で守る」ことを強く意識し、就業前の安全ミーティングの実施やヘルメット等の安全保護具の着用を確実に行います。

令和2年10月16日

山形県シルバー人材センター連合



安全就業宣言

(4) 安全就業巡回訪問

就業現場を含めた安全対策の実施状況を確認し、必要な改善を促進するため、安全就業対策委員が各センターを訪問し、意見交換を行う巡回訪問を、連合会設立当初から実施してきた。近年は、5年間で全センターを巡回する方針で、令和2年度も4センターを訪問した。訪問したセンターでは、安全就業対策の実施状況や現場での対策は概ね良好であったが、一部に作業中の看板の未設置や作業に適さない履物の着用など改善を要する点が見られたことから、適切な対応を求めた。



(5) 安全就業講習の開催

会員を対象に、事故の多い作業の安全対策や健康等をテーマに、県内各地域で年10ヶ所、総参加者300名程度で実施してきた。令和2年度は、規模を縮小し、令和元年度に策定した「シルバー運転業務に係る安全就業基準」に基づく交通安全講習として、各地域の警察署の協力を得ながら「高齢者の交通安全」に関する講習を、県内2カ所、参加者65名で実施している。

(6) 安全就業推進員・担当職員研修会

主に各センターの安全委員会委員等を対象とした研修では、安全対策を進めるうえで役立つ全般的な知識の習得に結びつく講演等を行っている。

安全担当者を対象とした研修では、県内各ブロック単位に、センターで抱える具体的な課題について意見交換しながら、検討する形で実施してきた。

令和2年度は、いずれの研修も開催できず、関連資料の送付のみとなった。

(7) 安全就業先進地視察役職員研修

センターにおける安全就業対策の参考とするため、役職員を対象に、「全シ協安全就業優秀シルバー人材センター」の表彰を受けた近県のシルバー人材センターへの訪問研修を平成30年度から毎年1ヶ所実施している。毎回20~30名程の参加で、これまで公益社団法人柴田町シルバー人材センター（宮城県）及び公益社団法人喜多方市シルバー人材センター（福島県）を訪問し、取り組み状況の説明と質疑、意見交換に対応いただいた。

令和2年度は、公益社団法人湯沢市シルバー人材センター（秋田県）への訪問を予定していたが、実施できず、取り組み状況等についての各センターへの資料配布を行った。

4. 今後の課題

会員の平均年齢が毎年上昇するなかで、事故防止には、これまでの安全対策に加えて、1人ひとりの会員の健康対策も含めて対応していくことが必要ではないかと思っている。令和2年度から、熱中症や新型コロナウイルス対策等について産業医からの助言を受けながら対応を進めていることもあり、

今後、こうした専門家の協力を得ながら、就業時の安全対策と健康管理の両面での対策を考えていきたい。

また、件数の多い刈払い機の石飛による損害事故についても、使用する器具の選定とできるだけ簡便にできる就業現場での損害防止策について、具体的な検討を進めていきたい。

山形県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

★ 食中毒に気をつけよう ★

食中毒を引き起こす主な原因は「細菌」と「ウイルス」ですが、高温多湿となる梅雨から夏は、0-157 やサルモネラ菌、カンピロバクター、黄色ブドウ球菌などの細菌による食中毒の発生が多くなります。細菌性食中毒は夏場にピークを迎え、重症化すると死亡することもありますので、予防・対策を心がけましょう。

● どうして感染？ 感染したらどうなる？ ●

- 細菌性食中毒は有害な菌がついた食べ物を食べることで発症
- 暑さや睡眠不足、過度なストレスなどで体の抵抗力が弱っている時に発症しやすい
- 一般的な症状は腹痛、下痢、嘔吐、発熱など
- 風邪や寝冷えと自己判断して、食中毒と気づかないうちに重症化してしまうことも。安易に市販薬を服用せず、異常を感じたらすぐに医療機関で受診を。

▲ 食中毒予防の三原則 ▼

- ① 菌をつけない
手を介して食中毒の原因菌が食べ物につくのを防ぐため、調理や食事の前には洗い残しのないように手を洗いましょう
- ② 菌を増やさない
細菌は 30～40 度（触るとほんのりあたたかいくらい）で最も増殖しやすくなり、10 度以下で増殖がゆっくりとなります。食べ物の保存はできるだけ低温で。
- ③ 菌をやっつける
多くの細菌は加熱により死滅します。食材は中心まで十分に加熱しましょう。

◆ テイクアウトやデリバリー利用時は適切な温度管理を ◆

新型コロナウイルス感染症防止の影響から、飲食物のテイクアウト等の機会が増えています。

- 買いに行くときは、保存バッグや保冷剤、凍らせたペットボトルなど冷やせるものを持っていく。購入後、10 度以下で保管
- アツアツ出来立ての料理は 65 度以上で保管
- 持ち帰ったら（届いたら）、できるだけ早めに食べる
- 食べ残ししない量を考慮して注文し、1 回の食事で食べきる
- リスクの高いメニューに要注意
 - ・ 生鮮食品（野菜、皮ごとの果物、卵、刺身）
 - ・ 温かいものと冷たいものを合わせた料理
- 常温で長時間持ち歩いたり、室内に放置しない
（冷蔵庫があれば冷蔵庫で保管。冷蔵庫がない場合は保冷剤などを活用。）

安全関係の頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子です。

A4判 32頁（10部以上からの販売）

価格 税込 184円（本体 168円＋税）、送料実費

会員必携安全就業ハンドブック



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブックです。

変形B7判（縦12.5cm×横7.6cm）44ページ

○全国版（10部以上からの販売）

価格 税込 136円（本体 124円＋税）、送料実費

事故に学ぶ交通安全のポイント



交通事故の被害者にも加害者にもならず、いつまでも健康で”生涯現役”として活躍していただくため、事故事例に基づき、全カラー版でこの冊子を作成しました。

A4判 20頁（10部以上からの販売）

価格 税込 220円（本体 200円＋税）、送料実費

この3冊は、安全就業の指針を示していますので、会員の皆さまお一人おひとりに、ぜひお持ちいただきたい頒布物です。

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記した FAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

★仕様・価格等、予告なく変更する場合があります。

チエブクロー反射缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

最小製作量：100個～、100個単位

100個 本体価格：@ 490円(税別)

200個～ 本体価格：@ 390円(税別)

500個～ 本体価格：@ 300円(税別)

1000個～ 本体価格：@ 230円(税別)

サイズ：直径54mm

納期：約4週間

・クリップピン付

・OPP袋入り



絵、文字以外の地の部分が反射します。
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、
背景色を入れることができません。

チエブクロー缶バッジ

普及啓発グッズ、名札代わりにお勧め

編集後記

今年、全国的に梅雨明けは早かったのですが、明けた途端の猛暑。そして、お盆近くなってから先月号でも申し上げた「線状降水帯」による記録的な大雨。災害に遭われた方にお見舞い申し上げます。新型コロナウイルスは衰えを見せず、最近、災害って言われ方をしていますが、対策、対応の遅れによる人災ではと思います。そう、もう「自分の身は自分で守る」しかありませんがどう守ればよいのかよくわかりません。しかし、シルバーの事故は「自分の身は自分で守る」と意識すれば、防げるものがほとんどです。今月の事故もしかり。自分だけは大丈夫っていうことは絶対にありません。なので、安全帽さえ被っていれば…と思います。8月も下旬となり、暦の上ではすでに秋を迎えています。まだまだ暑い日が続くことと思います。会員のみなさん、熱中症対策は今しばらく万全にお願いします。また、今月は昨年度に続き、今年度に安全就業優秀・優良シルバー人材センター・連合として表彰を受けられた各センター等の取り組み状況など1冊にまとめ、臨時増刊号として発行しました。どちらのセンターもそれぞれ安全就業のため色々な工夫されていますので、ぜひご参考にされ、事故ゼロを目指して取り組んでいただければ幸いです。(松山)

皆様は、最近、褒められたことはありますか？私は子供の頃、褒められると嬉しくて「もっと頑張ろう！」と、やる気が湧いてきたものです。大人になってからは褒められることはほぼなくなり、できて当たり前になり、何か満たされない気持ちで日々過ごしています。誰しも心の動きがあるのに表さない(反応がない)ということは残念です。日本人は謙譲を美德とする文化なので、褒められて嬉しくてもどうリアクションすればいいのかわからないこともあります。内心はニヤニヤしているのですが、特に大人は褒められることに慣れていません。間に受けて喜んでも社交辞令かもしれない、などと勘繰ってしまいます。「褒める」という行為は人間関係をよりよくするものではないでしょうか。相手の様子や行動を見て心を動かされたら、尊敬や感動、感謝の気持ちをぜひ伝えるべきです。私たち人間は、相手の意思表示を受けるとそれを返したくなるという習性を持っていて、これはミラーリング効果などといわれているそうです。褒められた人は脳内神経が刺激され強い幸福感に包まれ、褒める側の人も脳が活性化するということがわかっています。さらに褒められて相手が喜んだり、やる気を出してくれている状態を見ると、それを自分の行動の成果として実感し脳は幸せホルモンを放出するそうです。人を褒めることで脳が活性化して思考力が鍛えられる上に、前向きになってやる気も出るのです。自分のためにも相手のためにも、お互いに「いいところを探そう」という流れが起こればいいなと思うこの頃です。(高木)